

< 競 技 注 意 事 項 >

1. 体調不良やその他症状がある場合は無理に出場しないこと。
2. 招集は、完了時刻の10分前までに招集所に集合し、点呼を受けること。
3. 招集に遅れた者は、棄権として出場させない。(オーダー用紙も含め時間で締め切る)
4. アスリートビブスは、胸・背部に確実につけること。ただし、跳躍競技は胸・背部のいずれかでもよい。トラック種目に出場する者は、競技者係から渡された腰ナンバーを必ず右腰後方につけること。
5. 競技用具は、棒高跳用ポールの他は会場備え付けのものを使用することを基本とする。検定を受けた用具以外は練習用としても競技場内に持ち込んではならない。
6. 投てき練習は、危険防止のため競技開始前に審判の指示によって行う。
7. 練習場は補助グラウンドとする。ただし、投てきの練習を禁ずる。
8. 優勝者に賞状および選手権章を授与する。
9. 記録証を必要とする者は、本部へ申し出ること。(記録証代100円)
10. 予選を行う種目において、予選が不必要になった場合は、番組編成をやり直し、決勝の時刻に決勝を行う
11. 跳躍競技のバーの上げ方は以下のとおりとする。

男子走高跳	開始	1 m 8 0	以降 5 c m	2 m 0 0	以降 3 c m
女子走高跳	開始	1 m 4 5	以降 5 c m	1 m 7 0	以降 3 c m
男子棒高跳	開始	4 m 2 0	以降 2 0 c m	4 m 6 0	以降 1 0 c m
女子棒高跳	開始	3 m 0 0	以降 2 0 c m	3 m 4 0	以降 1 0 c m

12. 競技用スパイク・シューズの規定については、競歩競技が40mm以内
その他の種目は全て20mm以内とする。事前検定は行わないが、競技前、競技後に審判長による確認がおこなわれる場合がある。(サークル種目においては制限なし)
13. 5000mWは、スタート後男子26分、女子30分を越えて次の周回には入れないものとする。
14. フィールド競技(棒高跳・走高跳)での関東選手権出場決定戦は、優勝決定戦に準ずる
ジャンプオフ形式とする。

※本大会の各種目上位6名(リレーは6チーム)は、関東陸上競技選手権大会への出場権を有する。(ただし、混成競技と女子3000mSCは上位3名。5000m以上の競技は実施しない)

※関東選手権出場希望者は、5日競技終了後1時間までに参加申込を現金を添えて事務室(正面玄関入って左の部屋)ですること。それ以降は受け付けません。
なお、各種目結果発表後1時間以内に関東選手権出場の意思表示をすること。

※参加申込手続きとは別に、日本陸連エントリーシステムから個人でエントリーしなければ出場できないので忘れずに手続きをすること。